

令和元年度

「新発田・胎内・聖籠インターンシップ事業」

実施報告



令和2年3月

新発田・胎内・聖籠インターンシップ事業
推進協議会 事務局

◇ 目次（報告内容）

- 新発田・胎内・聖籠インターンシップ事業実施内容・・・・・・・・ 1 p
- 参加企業等一覧（産業分類別）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 p
- 大学・短期大学校・専門学校・高校別実施状況・・・・・・・・ 3・4 p
- 産業分類別 参加企業数及び受入企業数状況・・・・・・・・ 5 p
- 就業体験者受入企業数及び就業体験者数の推移状況・・・・・・・・ 6 p
- 就業体験光景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 p
- 企業（事業所）アンケート結果を分析・整理・・・・・・・・ 8 p
- 生徒・学生アンケート結果を分析・整理・・・・・・・・ 9～12 p
- 添付資料：企業及び参加校（生徒・学生）アンケート集計結果

新発田・胎内・聖籠インターンシップ事業実施内容

- 3月～4月
 - 企業募集（新規開拓含む）

二市一町及び商議所による広報紙・HP・メールマガジンによる企業募集広報

前年度参加企業・事業所に依頼文書等配布・参加確認及び未参加企業・事業所にDM郵送
 - 新規申込企業に実施要領・関係資料等適宜配布及び事業説明（3月～8月 10社）
 - 各校に提供用情報資料（企業等リスト・概要書・計画書等）逐次作成
- 5月～12月
 - インターンシップ参加企業情報提供

5/13～20

敬和学園大学 新発田管内6高校 新発田市・胎内市・聖籠町 新潟職業能力開発短期大学校

胎内管内2高校 JAPANサッカーカレッジ
 - 当事業推進協議会委員拡充施策

5/16～7/5

職能短期大学校、中条高校、開志国際高校、聖籠町・中条町・黒川商工会から各1名を委員委嘱
 - 7/1～9/26 各校から派遣先企業（夏季・秋季）の情報提供受け
 - 7/3～24 新発田管内各学校長等宛学生・生徒アンケート依頼文書等配布
 - 7/9～9/17 夏季就業体験実施（高校生、短期大学校生（住居環境科）、大学生）
 - 7/9～10/15 インターンシップ参加・受入企業訪問（企業アンケート依頼及びお礼）
 - 7/23～9/25 高校生アンケート回答逐次提供受け及び集計結果データを各高校に情報提供
 - 9/2 会議所だより9月号「新発田・胎内・聖籠インターンシップ事業報告」掲載
 - 9/27 JAPAN サッカーカレッジに生徒アンケート依頼
 - 9/30～10/16 秋季就業体験実施（短期大学校生（電気エネルギー制御科・電子情報技術科）、専門学校生）及び受入企業訪問（企業アンケート依頼及びお礼）事後集計等作業
 - 11/7～14 学生等アンケート回答提供受け、事後集計作業
 - 11/19～当事業経過・状況報告配付（協議会関係者）
 - 12/17 受入企業・事業所へ生徒・学生アンケート結果（一部抜粋）資料を送付（73通）

新発田・胎内・聖籠インターンシップ事業 参加企業等一覧（産業分類別）

産業分類	分類別No.	企業名	産業分類	分類別No.	企業名	産業分類	分類別No.	企業名
D 建設	1	(有)菅原電気工事	I 卸売・小売	1	旬花のひらの	P 医療・福祉	10	(私)あいこども園
	2	(株)八幡建築		2	住DEPOT新発田店		11	(市)五十公野保育園
	3	(株)高橋建設		3	(株)イノウエ		12	(市)松浦保育園
	4	大進電業(株)		4	(株)三和商会		13	(福)新発田市社会福祉協議会
	5	(株)関川水道		5	旬花のみどりや駅前本店		14	(私)大栄保育園
	6	(株)石田建設		6	(株)ハードオフコーポレーション		15	(市)中井保育園
	7	(株)岩村組		7	ほんま商店		16	(市)ひまわり学園
	8	(株)新和組		8	(株)関川産業（セキカワカナモノ）		17	養護老人ホーム あやめ寮
	9	(株)馬場工務店		9	(株)ウオロク		18	(市)天ノ原保育園
	10	山田建設(株)		10	(株)ひらせいホームセンター		19	(株)ケア・ハート
	11	(株)新潟グリーンテック		11	(株)アルベン 新発田店		20	(福)いじみの福祉会 <small>ハルcomも陽だまり苑</small>
	12	新喜工業(株)		12	(株)PLANT 聖籠店		21	安斎クリニック
	13	研冷工業(株)		13	pasticceria Dolci（ドルチ）		22	(福)板額の里 ウエルネス中条
	14	(株)伊藤組		14	PATELIN（パトラン）		23	(株)加治川の里
	15	興栄建設(株)					24	(福)阿賀北総合福祉協会 やすだの里
		G	1	(株)エフエムしばた	25	(私)優の森こども園		
術 サ ー ビ ス ・ 技	1	(株)足立測量設計事務所	M 宿泊・飲食 サービス	1	(株)サクラフーズ	26	下越障害福祉事務組合 中井さくら園	
	2	(有)サンチャンカメラ高橋写真館		2	(有)豊谷殿	27	下越障害福祉事務組合 ひまわり荘	
	3	(株)聖測コンサルタント		3	(株)ホテル清風苑	28	(市)藤塚浜保育園	
	4	(株)コバヤシ写真機店		4	(株)胎内リゾート	29	(福)のぞみの家福祉会	
			5	スターバックスコーヒーージャパン(株)	30	(私)百華保育園		
E 製 造	1	片山食品(株)	N 生活関連 サービス	1	(株)花安 新発田斎場	R （他に分類されないもの） サービス	1	(株)弘新機工
	2	島津印刷(株)		2	(株)紫雲寺記念館（紫雲の郷）		2	小柳産業(株)
	3	(株)松浦製作所		3	美容室 上風		3	新発田商工会議所
	4	イオカ電子(株)		4	(株)ティーアンドエス		4	新発田市総合型地域スポーツクラブ
	5	(株)リード 新潟工場		5	(株)倫（美容室TOMO）		5	新発田ビルサービス(株)
	6	THK新潟(株)		6	(株)ケー・オー・ケー・ケー ハミングツアー		6	新発田ビルサービス(株)・ 苜栄ライフ(株)共同企業体
	7	菊水酒造(株)	O P 医療・福祉	1	(市)御免町幼稚園	S 公務	1	胎内市役所
	8	佐藤食品工業(株)新発田工場		2	(市)紫雲寺保育園		2	新発田市役所
	9	日東アリマン(株)		3	(市)ななは保育園		3	聖籠町役場
	10	(株)中村ガラス		4	(市)川東保育園		4	新発田公共職業安定所
	11	(株)日立産機システム 中条事業所		5	(市)うすが森保育園			
	12	(株)中条ジャムコ		6	(私)あそびの森すみよし保育園			
	13	(株)マルコ岩村		7	(市)西園保育園			
	14	(株)栗山米菓 新発田工場		8	(市)菅谷保育園			
	15	佐久間食品(株)		9	(市)大峰保育園			
	16	昭栄印刷(株)						
	17	(株)ヤマシタ 新潟工場						
	18	(株)日立産機中条エンジニアリング						
	19	(株)サンエコー 中条工場						
	20	(株)小国製麺						

G：情報通信
O：教育
Q：複合サービス

※網掛け数字は新規参加企業

市・町別内訳						
項目	新発田市	胎内市	聖籠町	阿賀野市・新潟市	合計	内新規参加企業
参加企業	85	16	2	7	110	10
受入企業	59	8	1	5	73	2
体験人数	257	30	5	33	325	5

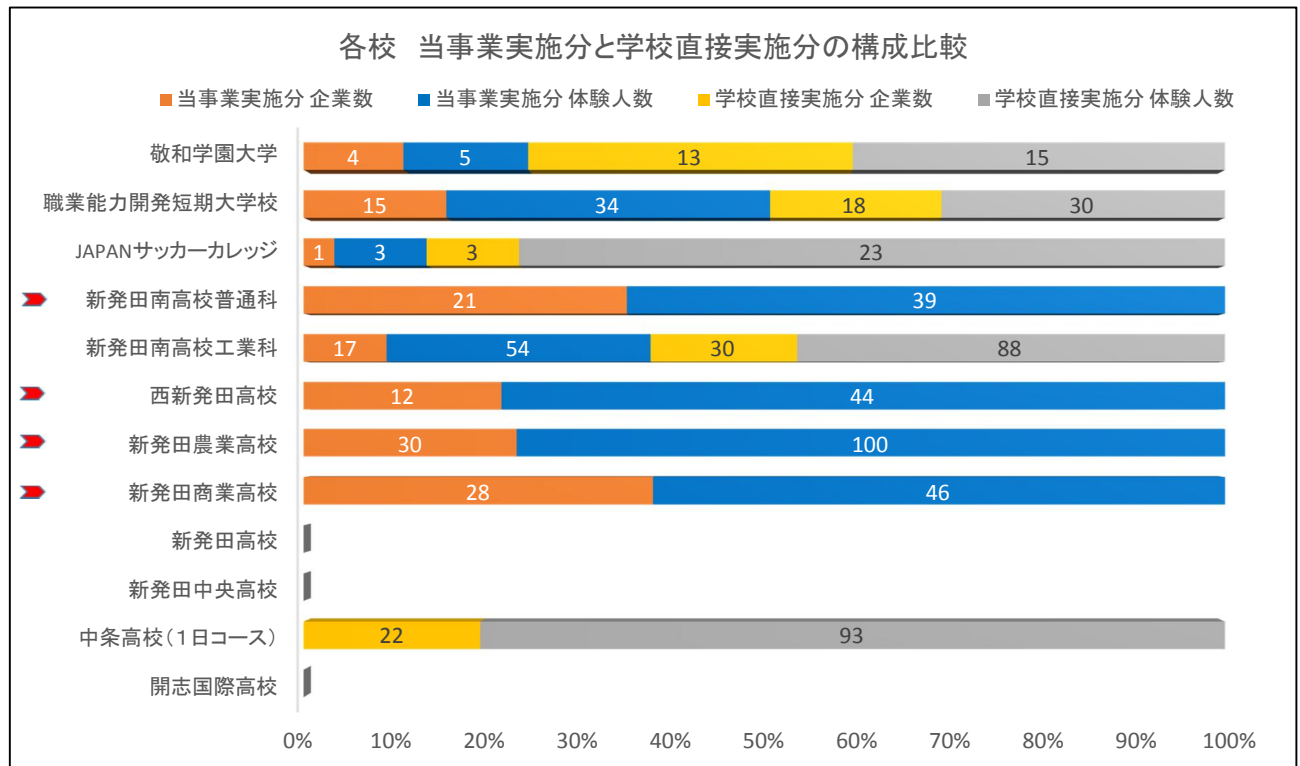
大学・短期大学校・専門学校・高校別実施状況

学 校 名	当事業実施分			学校直接実施分		合 計		昨年度	
	企業数	体験人数	昨年度 体験人数	企業数	体験人数	企業数	体験人数	体験人数	
敬和学園大学	4	5	6	13	15	17	20	22	
新潟職業能力開発短期大学校	15	34	27	18	30	33	64	70	
JAPANサッカーカレッジ	1	3	2	3	23	4	26	17	
県立新発田南高等学校	普通科	21	39	29	0	0	21	39	29
	工業科	17	54	42	30	88	47	142	151
県立西新発田高等学校	12	44	51	0	0	12	44	59	
県立新発田農業高等学校	30	100	40	0	0	30	100	40	
県立新発田商業高等学校	28	46	54	0	0	28	46	54	
県立新発田高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0	
私立新発田中央高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0	
県立中条高等学校（1日コース）	0	0	0	22	93	22	93	153	
私立開志国際高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	128	325	251	86	249	214	574	595	
構成比（％）	59.8%	56.6%	42.2%	40.2%	43.4%	—			

体験人数昨年比
約1.3倍 ↑

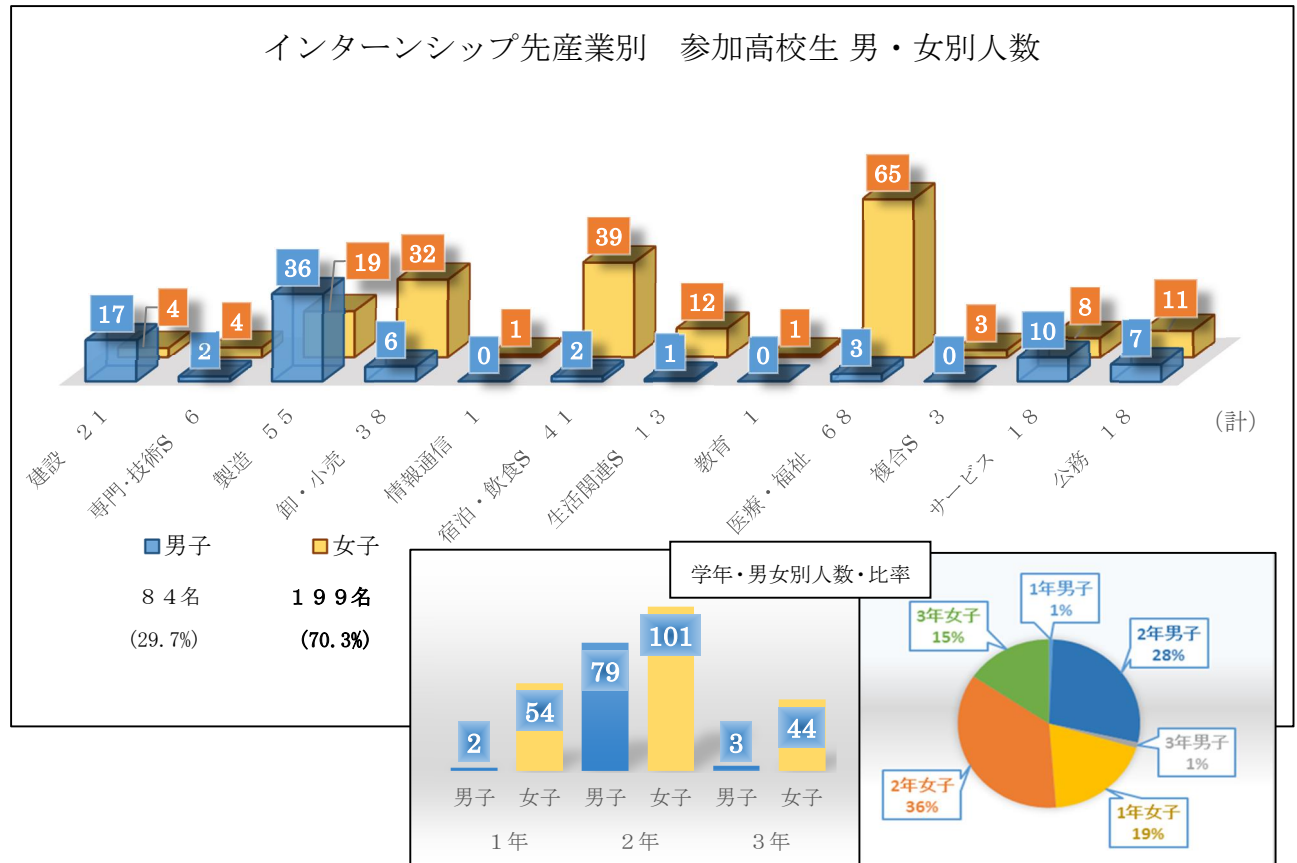
※今年度、当事業が体験人数で学校直接を上回る結果となった。

補足資料1（全般）

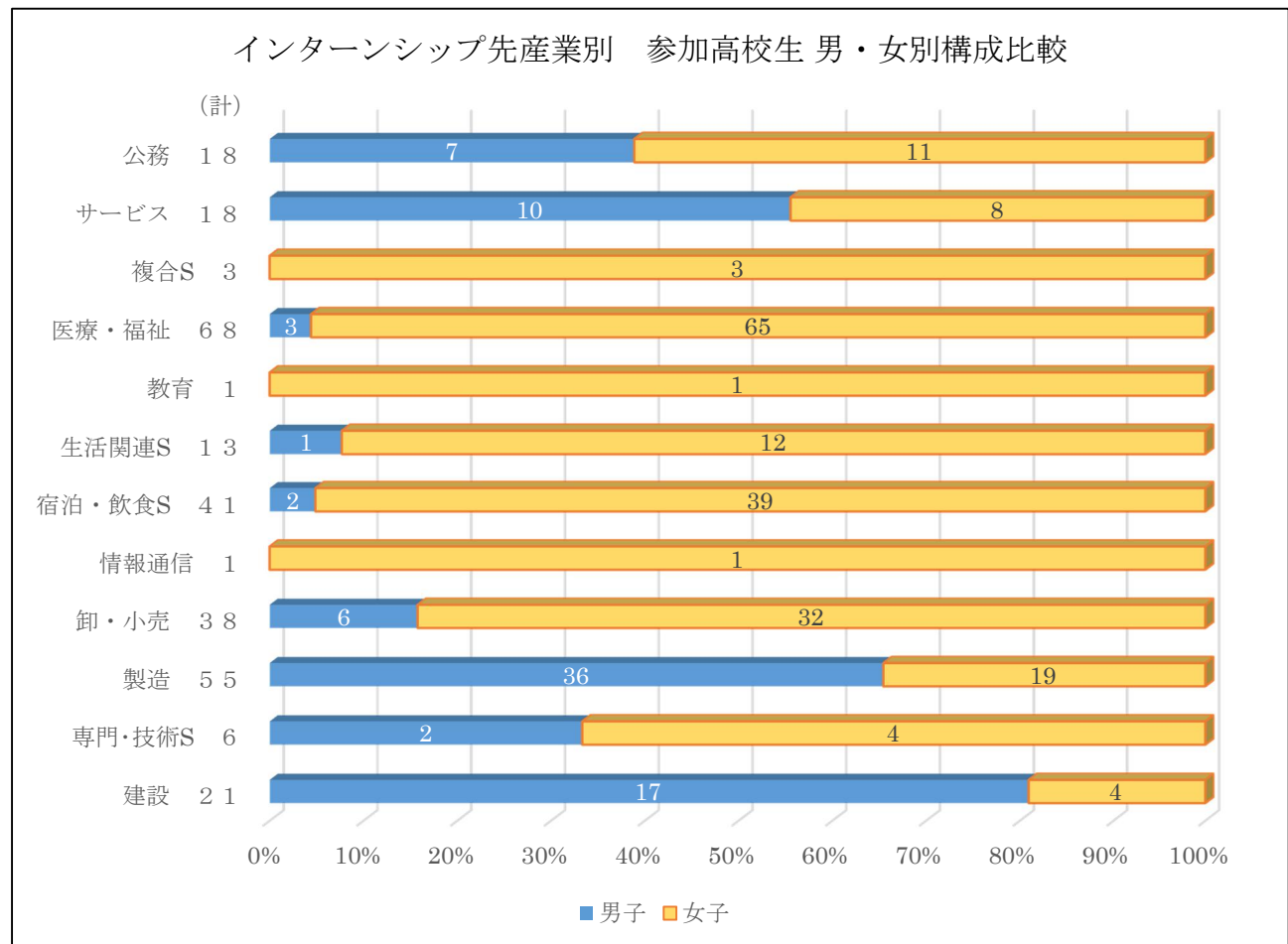


▶ : 当事業分のみの実施校

補足資料 2-1 (高等学校分)

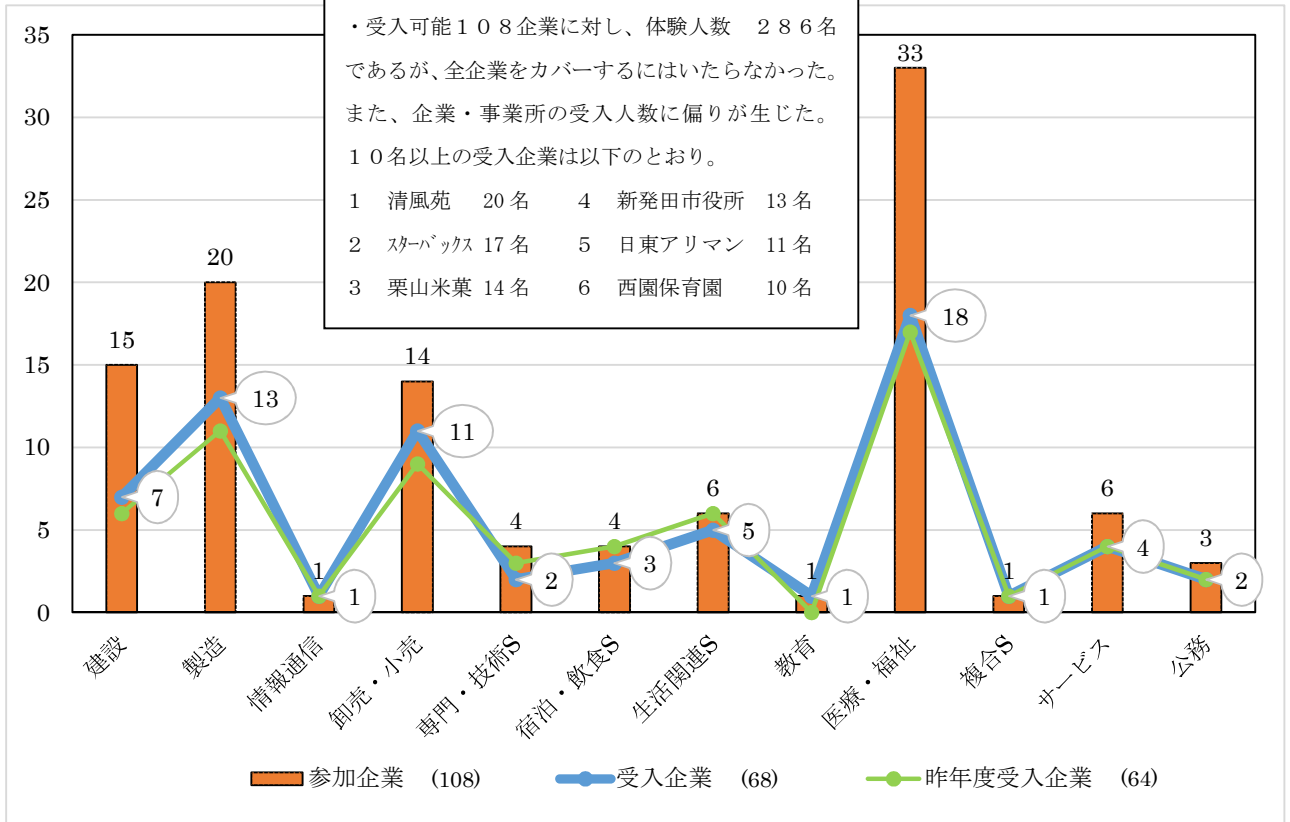


補足資料 2-2 (高等学校分)

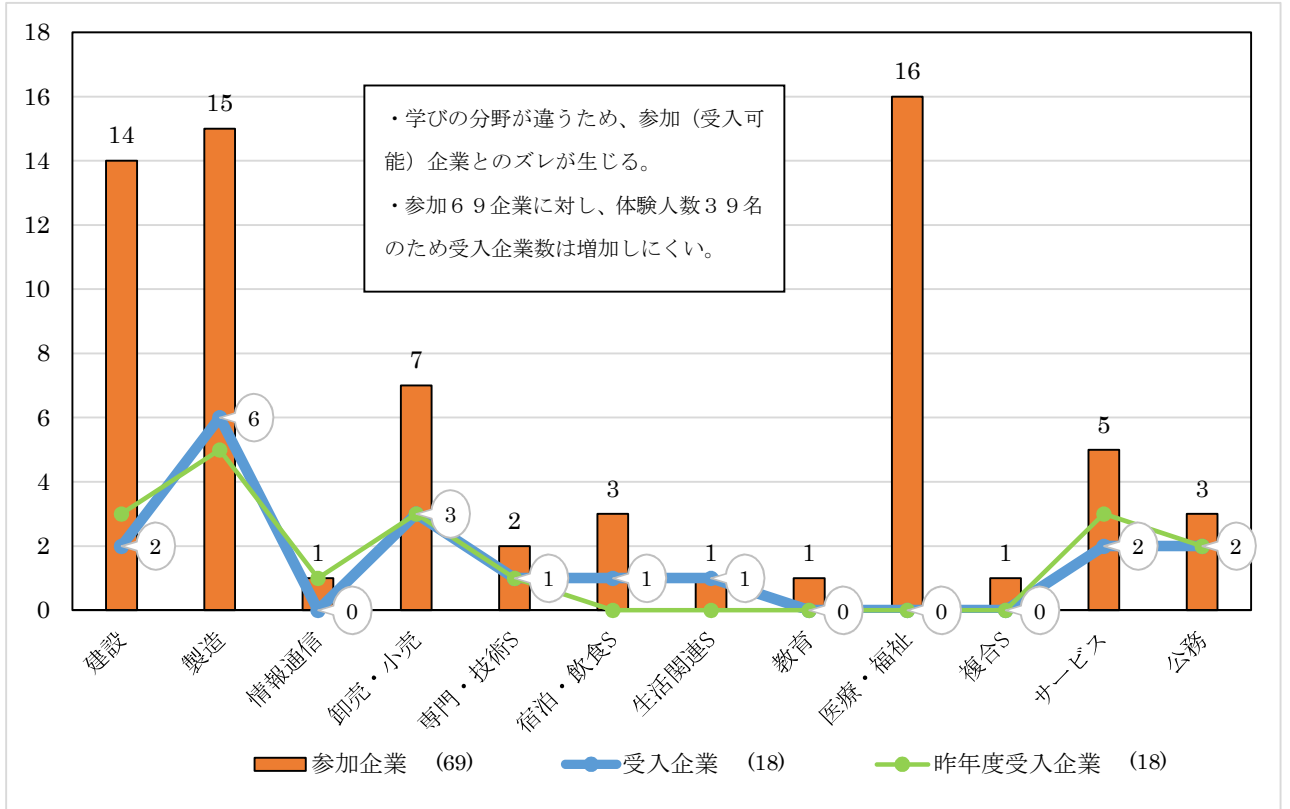


産業分類別 参加企業数及び受入企業数状況

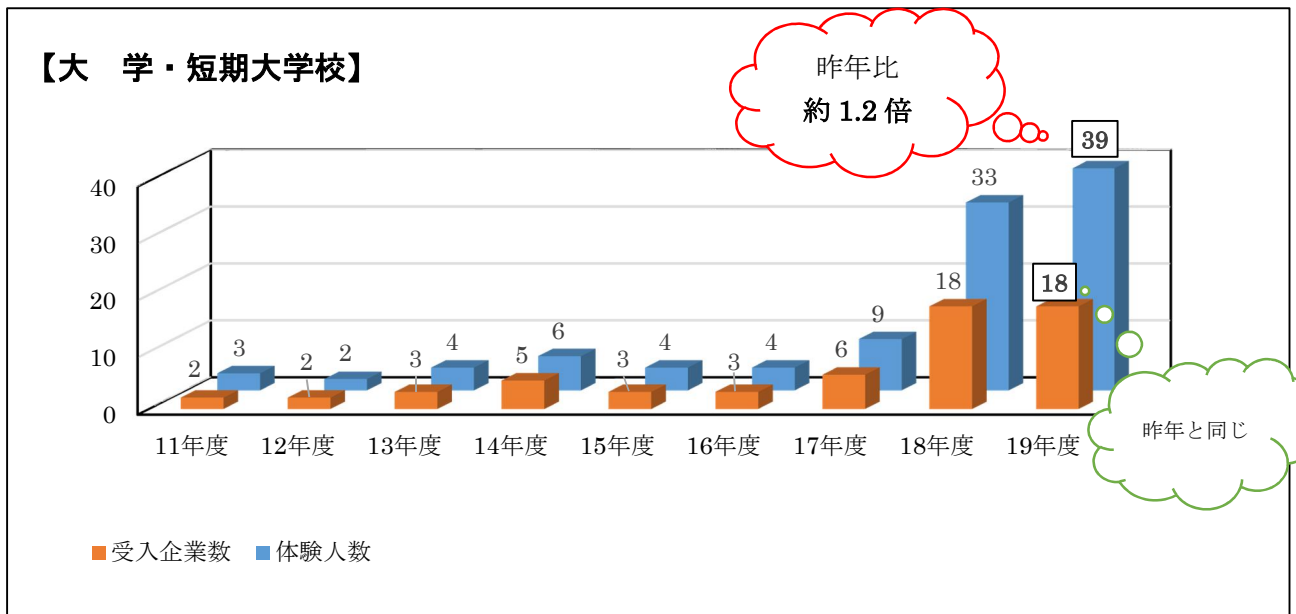
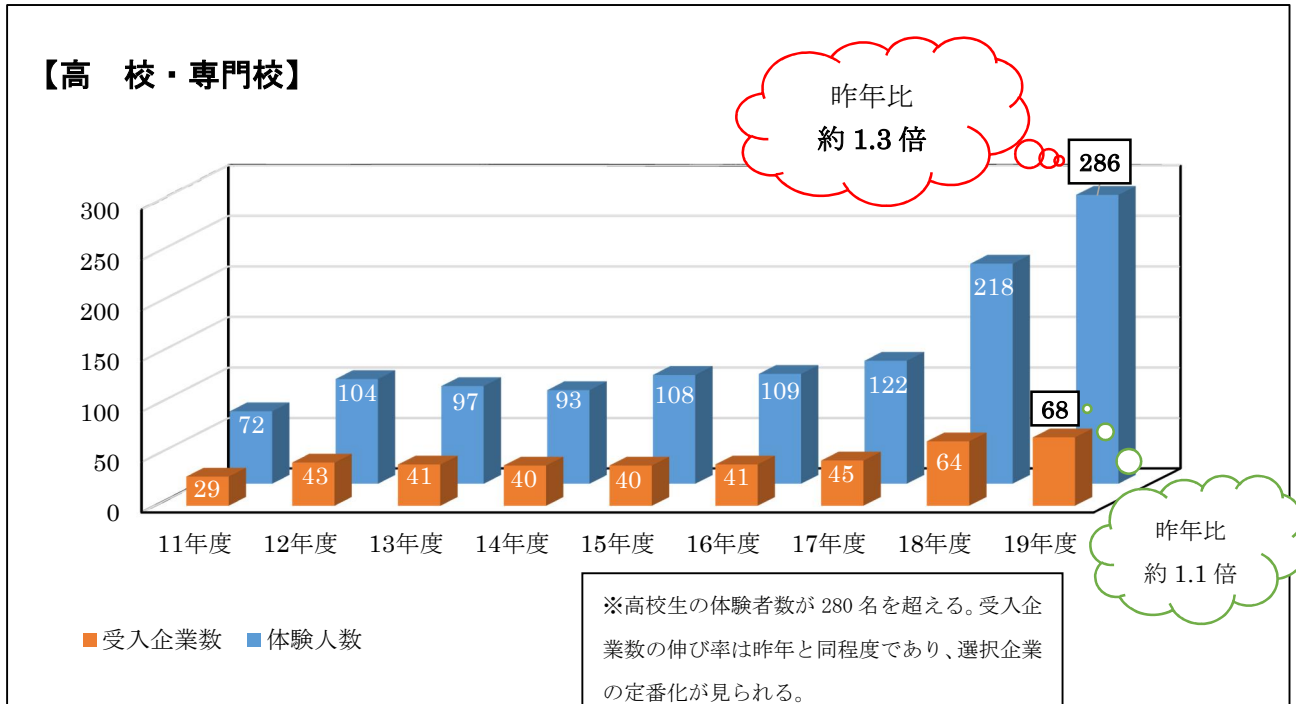
【高 校・専門校】



【大学・短期大学校】



各年度 就業体験者受入企業数及び就業体験者数の推移状況



各年度 就業体験者受入企業数及び就業体験者数の推移状況表

内 訳	11年度(H23)	12年度(H24)	13年度(H25)	14年度(H26)	15年度(H27)	16年度(H28)	17年度(H29)	18年度(H30)	19年度(R元)	合計	
高 校	受入企業	29	43	41	40	40	41	45	64	68	411
	体験人数	72	104	97	93	108	109	121	216	283	1203
専門学校	受入企業							1	1	1	3
	体験人数							1	2	3	6
短期大学校	受入企業								16	15	31
	体験人数								27	34	61
大 学	受入企業	2	2	3	5	3	3	6	3	4	31
	体験人数	3	2	4	6	4	4	9	6	5	43

就業体験光景



企業（事業所）アンケート結果を分析・整理

添付資料の企業アンケート結果から企業・事業所の回答をふまえ、インターンシップに関わる企業側の要望等・ご意見について設問の一部を抜粋、以下のように整理した。

要望・ご意見	整理内容
<p>◆設問4 就業体験前の事前指導及び普段から行う学校の指導について</p> <p>1 挨拶・返事・言動等を含む社会人としてのマナーについて（訪問時の挨拶等できていない）</p> <p>2 目的意識の指導（働く意識づけ等）</p> <p>3 受入企業の取組みについての意識</p> <p>4 受入企業への通勤経路・移動時間の把握</p>	<p>◇ 学校側は、基本就業体験前にマナー教育を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・返事・受答えが出来る・声の大きさ（元気） ・企業の選択及び就業体験の目的を自ら説明できる ・生徒・学生のために企業が時間を使う認識（感謝の心） ・余裕ある通勤（移動）計画及び遅刻対処要領
<p>◆設問6 日誌及び評価報告書等について</p> <p>1 評価報告書の事業者記入欄は毎日でなく最終日のみにしていただきたい。</p> <p>2 パソコン入力できるよう電子データをいただきたい。</p> <p>3 日誌記述量が多い高校があり、生徒が時間内に書ききれない。</p>	<p>◇ 事務局としては、昨年度評価報告書について、軽易な様式を追加・対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者記入欄に最終日のみとコメントを追加している（認識の統一を図る）。 ・該当高には連絡済み ・当事業様式の使用をお願いしてはいるが、学校の慣例もあり、変更について難しい現状にある
<p>◆設問7 過去にインターンシップ生として受け入れた生徒を、その後採用したことがありますか</p>	<p>◇ インターンシップ生の就職実態調査について</p> <p>※ 結論：現状は大変難しい（昨年度と同様） 現在は企業アンケート及び一部先生からの聞き取りにより把握。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験高校生の大部分が1・2年生のため3年生までの期間が開き追跡調査が難しい（個人情報・先生の異動） 今後学校側に、就業体験に係る就職実態調査協力をお願いする手段を検討
<p>◆設問8 その他、お気づきの点がありましたらご記入ください。</p> <p>1 三高校20名受入、生徒に満足な就業体験は難しい。又、同時期に複数校から複数人の希望を頂くと対応困難とのご意見</p> <p>2 興味なく就業体験に来られても、受入れ側のモチベーションも上がらない。会社の業種等理解した上で来てほしい。又、概要書・計画書等の内容を十分に把握していない（事前の準備・勉強不足）。仕事への意欲が感じられない。学びの態度が育っていない等</p> <p>3 生徒指導のための企業訪問調整は前日とかでなく期間の余裕をもってお願いしたい。</p> <p>4 携行書類様式の統一がなされていない。</p>	<p>◇ 今年度就業体験者数が300名を超え、一部20名を受入れた企業もある。（P5上段コメント参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業の新規開拓 飲食・宿泊及び食品製造業 ・目的意識及び企業研究の涵養に努める姿勢作りについて学校側にお願いする。 ・事前準備では日数を要するものもある。打合せ内容の伝達などにも注意を要する。 （企業から学校、学校から生徒への伝達過程） ・企業の業務スケジュール ・現状、学校独自のものもあり統一出来ていない。

生徒・学生のアンケート結果を分析・整理

添付資料のインターンシップ体験後のアンケート結果から生徒・学生の回答・意見をふまえ、設問の一部を抜粋、以下のように整理した。

回答・意見	整理内容
<p>(高校等回答数286名)</p> <p>◆設問4 インターンシップは、進路を考える上で役立つと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役立つ81% (233名) ・やや役立つ16% (45名) 	<p>◇ 97%の生徒等は「役立つ・やや役立つ」と回答、多数を占める。就業体験することにより、その実体験が進路を考える上での参考となっている。</p>
<p>◆設問6 今回のインターンシップで学んだことは何ですか。当てはまるものを三つ選んでください。上位4項目は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・言葉遣いの大切さ (178) ・働くことの厳しさ (125) ・人間関係の重要性 (115) ・働くことの楽しさ (104) 	<p>◇ 特に群を抜いて「挨拶・言葉遣いの大切さ」が178と回答多数を占める。それに次いで100台で「働くことの厳しさ」「人間関係の重要性」「働くことの楽しさ」につながる回答となった。</p>
<p>◆設問7・9 インターンシップに参加して良かったと思うこと、気づいたことを記入してください。以下回答・意見を4項目に小・細分類すると以下のとおり。</p> <p>1項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事(働くこと)の楽しさ・大変さ・厳しさ・大切さ・責任感について ・普段できない体験をし、仕事について理解できた ・体験をとおして職業・職場の雰囲気を知る ・仕事に対する興味や関心が高まる <p>2項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来やりたい職業・職場を体験し意欲が湧く ・進路を考えるよい機会となった ・目標にするべき仕事が見える(詳しく知る) ・社会へ出たときの実感がわいた <p>3項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験をとおしてスキルの必要性を学べた ・視野が広がり、意識が変わった ・学校生活においての自分のやることが見えた <p>4項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係・コミュニケーションはすごく大切 ・様々な年代の人と同じ職場で仕事をする貴重体験 ・人間性を育てる良い経験となった <p>以上、各々が実体験をもって感じた回答・意見である。</p>	<p>◇ 左記項目について回答・意見を大分類すると以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 働くこと、生きることの尊さを実感し、勤労観、職業観の醸成につながる意見 2 進路選択への積極性につながる意見 3 学習意欲の向上につながる意見 4 人間関係形成、社会形成能力に関する意見 <p>以上、生徒等が参加して良かったと思うことは、4つの大項目に分けられ、各々、学校では得がたい貴重な実体験からの卒直な意見である。</p>

回答・意見	整理内容
<p>◆設問8 インターンシップに参加して困ったことがあったら記入してください。(回答より抜粋)</p> <p>1 就業体験に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容が多く作業を覚えることが大変 ・接客対応で困る(接客要領、商品陳列場所?) ・初日の不安感と馴れない立ち作業 ・企業についての学習不足 <p>2 コミュニケーション等に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の人との接し方(何を話してよいのか) ・正しい言葉遣いが分らない <p>3 移動に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁度良い時間の電車がなかった ・場所が遠い(家から) ・親に送迎してもらおう 	<p>◇ 1・2項</p> <p>インターンシップにおける心構えについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い責任感をもって臨むこと 程度差はあれ社会人と同じ仕事をするこの責任を認識 ・積極的な態度で臨むこと 目的の明確化(何の目的で体験しに来たのかを自覚)失敗したら(落ち込む必要はない)その経験を踏まえ、良くする努力を怠らない。 <p>以上について学校側でも引き続きご指導をお願いする。また、企業側にも今どきの若者についての理解とお声かけをお願いしたい。</p> <p>◇ 3項について</p> <p>今後、交通手段については、企業の協力を得て、最寄駅までの送迎等を検討する必要がある。(一部の企業では最寄駅までの送迎を検討し、概要書に調整により送迎可と記載していただいている)</p>
<p>(高校等回答数283名)</p> <p>◆設問10 将来は、新発田市、胎内市、聖籠町の圏域で就職をしたいと考えていますか?</p> <p>1 この圏域で就職したい(103名 36%)</p> <p>2 1以外の新潟県内で就職(100名 35%)</p> <p>3 県外に就職(44名 16%)</p> <p>4 その他(36名 13%)</p>	<p>◇ 左記項目について小分類すると以下のとおり。</p> <p>1項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域に関連 地元だから(安心感)、地元で働きたい 地元地域に貢献・発展させたい 自宅から近い勤務先 仕事の選択肢が多い <p>2項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職・通勤関連 仕事の選択肢が多い(新潟市、中央区) 大企業が多い 交通の利便性がよい <p>3項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京(関東圏)に関連 仕事の選択肢が多い(働き口がある) 大企業で働きたい(給料が高い) ・就職等関連 神社仏閣の設計をしたく関西 ・進学関連 進学後(大学・専門校)そのまま都市圏 <p>4項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未定(まだ決めていない) ・進学後に考える <p>就業体験者の7割が圏域含む新潟県内での就職を考えている。</p>

回答・意見	整理内容
<p>(大学等回答数 39名)</p> <p>◆設問1 参加動機を教えてください。 上位3項目は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働くことがどういうものか体験したい (8名) ・就職活動に役立つと思ったため (8名) ・学んだことが現場でどう活かされるか (7名) 	<p>◇ 左記3項目にほぼ同数の回答が集まっており次に「希望とは違う業種や企業を体験したい」に6名が回答している。</p>
<p>◆設問3 インターンシップの参加であなたにとって得られたことについて教えてください。当てはまるものを三つ選んでください。 上位3項目は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの大切さを感じた (28) ・マナーや常識の大切さを感じた (21) ・学生と社会人の責任の違いを感じた (16) 	<p>◇ 左記3項目で全体の約6割の回答を占める。</p>
<p>(大学等回答数 31名)</p> <p>◆設問6 将来は、新発田市、胎内市、聖籠町の圏域で就職をしたいと考えていますか？</p> <p>1 この圏域で就職したい (8名 20%)</p> <p>2 1以外の新潟県内で就職 (16名 41%)</p> <p>3 県外に就職 (10名 26%)</p> <p>4 その他 (5名 13%)</p>	<p>◇ 左記項目について小分類すると以下のとおり。</p> <p>1項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元だから ・通勤しやすい ・家から近い <p>2項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元だから (新潟市・長岡市・三条市) ・仕事の選択肢が多い (新潟市中央・東・西区) ・地元を離れ自立 <p>3項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の選択肢が多い ・県内で良い企業に就職できる場所がない気がした ・世界は広い <p>4項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ決めていない ・進学希望、就職先は企業を見て選びたい <p>参加大学生の5名全員が圏域含む新潟県内の就職を希望する。</p> <p>職能短大においては、約6割にあたる24名が圏域含む新潟県内の就職を希望する。</p> <p>3割が県外を希望している。</p>

回答・意見	整理内容
<p>◆設問7 その他、当協議会に関するご意見・ご要望・ご提案ご感想などをご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を見つめ直すきっかけができたインターンシップでした。貴重な体験ができてよかった。 ・新発田市のインターンシップに参加、新発田地域の魅力に改めて気づく。実習内容はもっと難しくてもよい。 ・インターンシップ参加者がどこまで何ができるか、受入側に伝えたほうがいい。最初に何ができるか聞かれ、その後仕事が決まった感じだった。 	<p>◇ 企業のインターンシップ実施目的と学生の参加目的に沿うプログラムを、どのように両立させるかが重要と考える。</p>